

Niveau A2+B1
des Europäischen
Referenzrahmens
★ ★ ★ ★ ★

Japanisch

Yasuko Sakai

Nihon no ima – Japan heute

Ein Japanischlehrwerk für Fortgeschrittene

BUSKE

Yasuko Sakai

Nihon no ima

日本の今

Japan heute

Ein Japanischlehrwerk
für Fortgeschrittene

Unter Mitarbeit von Katrin Buchta



BUSKE

Bibliografische Information der Deutschen Nationalbibliothek

Die Deutsche Nationalbibliothek verzeichnet diese Publikation in der
Deutschen Nationalbibliografie; detaillierte bibliografische Daten sind im Internet über
<<http://dnb.d-nb.de>> abrufbar.

ISBN 978-3-87548-539-4

© Helmut Buske Verlag GmbH, Hamburg 2011. Alle Rechte, auch die des auszugsweisen Nachdrucks, der fotomechanischen Wiedergabe und der Übersetzung, vorbehalten. Dies betrifft auch die Vervielfältigung und Übertragung einzelner Textabschnitte durch alle Verfahren wie Speicherung und Übertragung auf Papier, Filme, Bänder, Platten und andere Medien, soweit es nicht §§ 53 und 54 URG ausdrücklich gestatten. Satz: Sönke Grützmacher, Druck: Strauss Offsetdruck GmbH, Mörlenbach. Bindung: Litges und Dopf, Heppenheim. Papier: alterungsbeständig nach ANSI-Norm resp. DIN-ISO 9706, hergestellt aus 100% chlorfrei gebleichtem Zellstoff. Printed in Germany. www.buske.de

目次

Vorwort.....	xiii
前書き	xv
第1課 歴	1
【話してみよう】	1
【本文】 くりかえしてはならない歴史.....	2
【会話】 少数民族・アイヌ.....	2
【語彙】	3
【文法・表現】	5
【練習】	7
【まとめ】 ～なる の表現いろいろ.....	9
【内容質問】	10
【作文】	11
【タスク】	11
【漢字】	11
【漢字テスト】	13
【聴解】	14
【翻訳】	15
第2課 現代の企業	17
【話してみよう】	17
【本文】 大企業と中小企業.....	18
【会話】 不況と日本.....	18
【語彙】	19
【文法・表現】	23
【練習】	24
【内容質問】	26
【タスク】	26
【作文】	27
【漢字】	27
【漢字テスト】	28
【語彙テスト】	29
【聴解】	31
【翻訳】	31
第3課 人生	33
【話してみよう】	33
【本文】 人生八十年.....	34
【会話】 家族の形	34
【語彙】	35
【文法・表現】	38
【練習】	41
【内容質問】	42
【作文】	42

【タスク】	43
【漢字】	43
【漢字テスト】	45
【聴解】	46
【翻訳】	46
第4課 教育	47
【話してみよう】	47
【本文】教育制度および教育思想	48
【会話】少子化と過保護	48
【語彙】	49
【文法・表現】	52
【まとめ】「わけ」の表現いろいろ	55
【練習】	55
【内容質問】	58
【作文】	59
【タスク】	59
【漢字】	60
【漢字テスト】	61
【聴解】	62
【翻訳】	62
第5課 食生活	65
【話してみよう】	65
【会話】バラエティー豊かな日本人の食卓	66
【食に関することわざ】	67
【語彙】	67
【文法・表現】	71
【練習】	72
【内容質問】	74
【タスク】	75
【作文】	75
【作文】「ことわざ」紹介	75
【漢字】	75
【漢字テスト】	76
【聴解】	78
【翻訳】	78
第6課 エネルギー	81
【話してみよう】	81
【本文1】新しいエネルギーの開発	82
【本文2】温暖化防止の一步・温暖化対策	82
【語彙】	83
【文法・表現】	86
【語彙テスト】	88
【練習】	89
【ロールプレー】	91

【タスク】	91
【内容質問】	91
【漢字】	92
【漢字テスト】	94
【作文】	95
【聴解】	95
【翻訳】	96
第7課 経済の発達	97
【話してみよう】	97
【本文1】 経済の発達と産業構造の変化	98
【本文2】 仮想現実 (Virtuelle Realität)	98
【語彙】	99
【文法・表現】	102
【練習】	104
【内容質問】	107
【漢字】	108
【漢字テスト】	109
【聴解】	110
【作文】	110
【タスク】	111
【翻訳】	111
第8課 異文化	113
【話してみよう】	113
【本文】 身近な存在になった異文化	114
【会話】 日本に求められること	115
【語彙】	115
【文法・表現】	118
【読解】	120
【練習】	121
【内容質問】	124
【漢字】	125
【漢字テスト】	126
【聴解】	127
【作文】	127
【タスク】	127
【翻訳】	127
第9課 人	129
【話してみよう】	129
【本文1】 日本人の人生	130
【本文2】 不便と不幸	130
【語彙】	131
【文法・表現】	136
【練習】	139
【内容質問】	141

【漢字】	142
【漢字テスト】	144
【聴解】	145
【作文】	145
【タスク】	146
【翻訳】	146
第10課 言葉	149
【話してみよう】	149
【本文】 武器としての敬語（敬語は何の役に立つか）	150
【会話】 睡眠障害	150
【語彙】	151
【文法・表現】	154
【敬語】	156
【内容質問】	157
【副詞のまとめ】	158
【タスク】	172
【漢字】	172
【漢字テスト】	173
【聴解】	174
【翻訳】	174
解答	177
第一課 Geschichte	177
Text: Geschichte, die sich nicht wiederholen darf	177
Dialog: Ethnische Minderheiten – Ainu	177
【語彙】	178
【文法・表現】	179
【練習】	180
【まとめ】 ～なる	182
【内容質問】	183
【作文例】	184
【タスク】	185
【漢字テスト】	185
【聴解】	185
【聴解スクリプト】	186
【翻訳】	186
第二課 Moderne Unternehmen	188
Text: Großunternehmen und kleine und mittelständische Unternehmen	188
Dialog: Japan und die Rezession	188
【語彙】	189
【文法・表現】	191
【練習】	192
【内容質問】	193
【タスク】	194
【漢字テスト】	195

【語彙テスト】	195
【聴解】	196
【聴解スクリプト】	196
【翻訳】	197
第三課 Ein Menschenleben.....	199
Text: Ein Menschenleben dauert 80 Jahre	199
Dialoge: Die Familienstruktur	199
【語彙】	200
【文法・表現】	202
【練習】	204
【内容質問】	205
【作文例】	206
【タスク】	207
【漢字テスト】	207
【聴解】	207
【聴解スクリプト】 長寿国, 日本.....	207
【翻訳】	208
第四課 Bildung.....	210
Text: Das Bildungssystem und die Erziehungsidee.....	210
Dialog: Sinkende Geburtenrate und Verhättschelung.....	211
【語彙】	212
【文法・表現】	213
【練習】	215
【内容質問】	217
【タスク】	218
【漢字テスト】	219
【聴解】	219
【聴解スクリプト】 教育制度.....	219
【翻訳】	220
第五課 Essgewohnheiten.....	222
Dialog: Ein reichhaltig und vielfältig gedeckter Tisch	222
Sprichwörter zum Thema Essen	223
【語彙】	224
【文法・表現】	225
【練習】	226
【内容質問】	227
【タスク】	229
【作文例】	229
【作文】 「ことわざ」 紹介.....	230
【漢字テスト】	230
【聴解】	230
【聴解スクリプト】	230
【翻訳】	231

第六課 Energie	233
Text 1: Die Erschließung neuer Energien	233
Text 2: Maßnahmen gegen die Erderwärmung	233
【語彙】	234
【文法・表現】	235
【語彙テスト】	237
【練習】	237
【タスク】	239
【内容質問】	239
【漢字テスト】	240
【作文例】	240
【聴解】	241
【聴解スクリプト】 地球環境問題	241
【翻訳】	242
第七課 Die Entwicklung der Wirtschaft	243
Text 1: Die Entwicklung der Wirtschaft und die Veränderung der Industriestruktur ...	243
Text 2: Virtuelle Realität	243
【語彙】	244
【文法・表現】	245
【練習】	246
【内容質問】	248
【漢字テスト】	249
【聴解】	250
【聴解スクリプト】 経済の発達	250
【作文例】	251
【翻訳】	251
第八課 Andere Kulturen	253
Text: Unterschiedliche Kulturen existieren nahe beieinander	253
Dialog: Was von Japan verlangt wird	254
【語彙】	254
【文法・表現】	255
【練習】 接続詞	257
【内容質問】	259
【漢字テスト】	260
【聴解】	260
【聴解スクリプト】 異文化	260
【作文例】	261
【タスク】	262
【翻訳】	262
第九課 Der Mensch	264
Text 1: Das Leben der Japaner	264
Text 2: Unannehmlichkeiten und Unglück	265
【語彙】	265
【文法・表現】	267
【練習】	270

【内容質問】	271
【漢字テスト】	272
【聴解】	272
【聴解スクリプト】 礼儀正しい日本人.....	272
【作文例】	273
【タスク】	274
【翻訳】	274
第十課 Die Sprache.....	276
Text: Höflichkeitssprache als Waffe (Wozu braucht man <i>keigo</i> ?)	276
Dialog: Schlafstörungen	277
【語彙】	278
【文法・表現】	279
【内容質問】	280
【副詞のまとめ】	281
【タスク】	293
【漢字テスト】	294
【聴解】	294
【聴解スクリプト】	294
【翻訳】	295
漢字索引	297
第一課	297
第二課	298
第三課	299
第四課	300
第五課	301
第六課	302
第七課	303
第八課	304
第九課	304
第十課	306
索引	307
推薦のことば	327

Vorwort

Dem gestiegenen Interesse an der japanischen Sprache entsprechend liegt bereits eine Vielzahl von Lehrbüchern für die Grund- und Mittelstufe vor. Allerdings gestaltet sich gerade der Übergang zwischen den beiden Stufen als besonders schwierig. *Nihon no ima* möchte diesen Übergang erleichtern. Das Lehrwerk basiert insbesondere auf 30 Jahren Lehrerfahrung im Fach Japanisch als Fremdsprache, die Yasuko Sakai in Japan und in Deutschland gesammelt hat. Bei der Konzeption konnte sie zudem auf ihre Fachkenntnisse als Prüferin für *Oral Proficiency Interviews* (OPI) und aus der Mitarbeit an der Erarbeitung einer mündlichen Prüfung im Interview (OJAE) zurückgreifen.

Nihon no ima wendet sich an Lernende mit Vorkenntnissen im Umfang von ca. 300 Unterrichtsstunden, die das Kompetenzniveau A2/B1 des Gemeinsamen Europäischen Referenzrahmens erreichen möchten. In 10 Lektionen, die sich thematisch mit der japanischen Geschichte, Kultur und Gesellschaft beschäftigen, gibt das Lehrbuch einen Einblick in das heutige Japan und bietet den Lernenden an, ihre kommunikative Kompetenz anhand realistischer Sprachverwendungsaufgaben zu trainieren und zu erweitern.

An die Haupttexte bzw. Dialoge jeder Lektion schließen sich eine Vokabelliste mit Anwendungsbeispielen sowie eine Übersicht über feste Wendungen an. Abwechslungsreiche Übungen mit Fragen zum Textverständnis, Grammatikübungen, Aufsatzthemen sowie Übersetzungs- und Hörverständnisübungen bieten zahlreiche Möglichkeiten zur Anwendung und Vertiefung des Gelernten. Um der wachsenden Rolle neuer Medien bei der Sprachvermittlung Rechnung zu tragen, findet sich in jeder Lektion eine Internet-Rechercheaufgabe. Jede Lektion enthält eine Liste der neuen Schriftzeichen sowie einen Schriftzeichen- oder Vokabeltest. Ein Vokabel- und Schriftzeichenverzeichnis runden das Lehrbuch ab. Auf der Audio-CD sind Hörverständnisübungen sowie die Lektionstexte und Dialoge zu hören. Ausführliche Musterlösungen und eine Übersetzung der Lektionstexte bzw. -dialoge ermöglichen eine Verwendung von *Nihon no ima* im Unterricht und auch im Selbststudium.

Nihon no ima wurde bereits erfolgreich im Sprachunterricht an der Universität Leipzig getestet. Ein besonderer Dank gilt den Sprechern der Tonaufnahmen sowie den Studierenden für ihre Anregungen und Mitarbeit bei der Erstellung der Musterlösungen.

前書き

私は長年、日本とドイツにおいて日本語教育に携わってきました。その中で日々頭を悩ませてきたことは、やはり教科書の問題です。どんな教科書を使っても、要はそれを使っていかに教えるかということなのですが、やはり教科書が大事であることに変わりはありません。

初級の教科書は今日、本当にいろいろあります。教授法の研究もどんどん進み、私が日本語教育を始めた30年前とは比較にならないほどの目を見張るような進歩が見られます。日本語を教える際には、特にその到達目標をはっきりさせなければなりません。初級の基礎的な文型を終えた後に、中級へと橋渡しをし、その後いかにして専門課程に入っていける能力を身につけさせることができるかが、大きな課題となり、私自身大学レベルで、1995年以来それに取り組んできました。ヨーロッパの諸言語の運用能力を測るヨーロッパ・スタンダードを基準にして日本語の運用能力を測る必要性にもせまられてきました。また、OPI 口頭能力試験官・OJAE 欧州言語教育参照枠口頭表現能力評価法研究者としての立場からも、他の諸言語と比較できるような日本語能力の測定を念頭に置いた教材作成を目指してきました。

教材を用いて何ができるようになるかという Can-do (能力記述文) の考えをもとに、理解力・発話力・やり取り・書く力・読む力を高め、同時にまた学習者自らが進歩の過程を自己評価できるような教材が必要になってきています。2000年4月(筆者は日本で13年間の「金沢を世界に開く市民の会」での日本語教育に加え、1995年－2000年まで Heidelberg 大学・日本語講師、また2000年からは Leipzig 大学・日本語講師)から試験的に使用しながら改訂を重ねてきたこの『日本の今 1』は、学習者に現在の日本の問題などを提起しながら、学習者自身がその中の興味のある分野に焦点を当て、自分達でネットを用い、より深い考察を重ね、皆の前で発表、議論できるという形態をとっています。これまでの授業でも、切り口を自由にし、そのため学期ごとに異なった発表が見られました。そのうちのいくつかは教科書の中に参照例として取り上げてあります。また、文法は主に中級以上では「語彙表現」であるという見解から、表現や言い回しを中心に扱っており、そうした表現が学習者の作文や発表の際に頻繁に使用されるようになった事例もあります。

2009年2月の『日本の今2』履修時まで2年半学んだ学生達（総時間数720時間）の自己評価アンケート（Council of Europe (2002) Common European Framework of Reference for Languages より）によりますと、理解・発話・交話・書き・読みにおいて、ほぼ B 1－B 2 のレベルに到達したという結果を得ました。話題に興味を持つことができ、それについて学習者自身が自力で調査し、興味を深めていく中で、自ずと身についてくるものは大きいかと思います。

基本的に『日本の今1』は初級段階が終わった300時間後の学習者を対象に設定していますが、学習者は自習用に使うこともでき、メールで添削も受けられるようになっているのが特徴です。中級の教科書として、学習者のお役に立つことを心から願っています。

最後に教科書出版の大きな機会を与えてくださった Buske 出版社ハンプルクと何よりもパートナー・アドバイザーとして共に歩んできてくれた Katrin Buchta 氏に心からお礼を申し上げます。

ライプチヒ大学

東アジア研究所日本学科

日本語講師 酒井 康子

第1課

歴史

【話してみよう】

第一課を始める前に話し合ってみましょう。

- 1) あなたの国の歴史の中でどんな時代が一番好きですか。
- 2) それはどうしてですか。
- 3) 差別はどんなところにみられますか。
- 4) 民族同士の間に様々な戦争がありますが、それについてどう思いますか。





Track 1

【本文】 くりかえしてはならない歴史

明治維新以来、日本はすすんだ欧米各国に追いつくために、近代国家を建設することをめざしました。そのために、標準語をはじめ国民全体が共通の文化を持つことが必要でした。その結果、現代では日本中誰でもが日本語の読み書きができ、互いに理解し合える文化を共有することができるようになりました。

しかし、その過程で、共有の文化を重視するあまり、地域独自の文化を排除してきたことも忘れてはなりません。その一つが、先住民族であるアイヌの人たちの文化です。

さらに何よりも反省しなければならないことは、日本が植民地とした朝鮮半島や台湾で生活する人たちに対して、あるいは第二次世界大戦において占領したアジア各国の人たちに対して、それぞれの国の固有の文化を否定し、日本の文化を強制したことです。例えば、神社に参拝することを強要したり、姓名を日本風に改めさせたりしたことがありました。

我々日本人はこのような過去のあやまちを絶対にくりかえしてはなりません。そのためには、まず過去の事実を正しく見つめる勇気を持つことが必要です。



Track 2

【会話】 少数民族・アイヌ

伊藤：アイヌ人は現在日本にどれくらいいるのですか。

水島：まず、日本は単一民族の国ではなく、多民族国家です。朝鮮民族や、華僑を中心とする中国系の人々のほかに、昔からこの土地に住んでいる少数民族がいます。それがアイヌ人です。それに対して、この国で多数を占める民族がいわゆる私たちが考える日本人で、1億2千6百万人を超える日本人の中で、北海道のアイヌの人口は2万4千人ほどと言われています。

伊藤：アイヌ人に対しての差別がどうして起きてきたのですか。

水島：19世紀に明治政府が成立して、アイヌに対する日本人への同化政策を採用したからです。教育を日本語で行い、風俗や名前まで日本風に改めさせました。アイヌは日本人と同化して暮らしています。しかし、今も差別が続いていて、就職や結婚の際も問題が起きることがあります。しかし、今、新しい動きも始まりました。若い人々の間でアイヌ文化復興運動が始まっています。

【語彙】

【本文】

- | | | |
|----------------------------|-----------|--|
| 1. 明治維新 | めいじいしん | Meiji-Restauration (1868) |
| 2. 追い付く | おいつく | aufholen, einholen, erreichen |
| 例：一生懸命がんばってクラスみんなに追い付いた。 | | |
| 3. 建設 | けんせつ | aufbauen, Aufbau |
| 例：モダンな町へと建設工事が日夜進んでいる。 | | |
| 4. めざす | | streben nach; beabsichtigen;
zielen auf |
| 例：進級試験への合格をめざして、お互いがんばろう。 | | |
| 5. 標準語 | ひょうじゅんご | Standardsprache, Hochsprache |
| 6. 共通 | きょうつう | gemeinsam, gemein |
| 例：彼と私の共通点はお互いに音楽が好きなところです。 | | |
| 7. 共有 | きょうゆう | gemeinsam besitzen, mitbesitzen |
| 例：このアパートを友だちと共有しています。 | | |
| 8. 過程 | かてい | Prozess, Verlauf, Vorgang |
| 例：大事なことは結果ではなく過程である。 | | |
| 9. 重視 | じゅうし | etw. für wichtig halten, wichtig
nehmen, Wert auf etwas legen |
| 例：政府は国際関係を重視している。 | | |
| 10. 排除 | はいじょ | beseitigen, ausschließen |
| 例：できるだけ摩擦は排除していきたい。 | | |
| 11. 先住民族 | せんじゅうみんぞく | Ureinwohner |
| 12. 反省 | はんせい | nachdenken, sich Gedanken ma-
chen, reflektieren |
| 例：自分のしたことをよく反省してください。 | | |
| 13. 植民地 | しょくみんち | Kolonie |

- | | | |
|--------------------------|-------|---------------------------------|
| 14. 占領 | せんりょう | besetzen, einnehmen; Besetzung |
| 例：第二次世界大戦中、日本は台湾を占領しました。 | | |
| 15. 固有 | こゆう | eigentlich, wesenseigen |
| 16. 否定 | ひてい | verneinen, (ab-)leugnen |
| 17. 強制 | きょうせい | zwingen, nötigen; Zwang |
| 例：誰も言論は強制されてはならない。 | | |
| 18. 参拝 | さんぱい | einen Tempel/Schrein besuchen |
| 例：首相は靖国神社を参拝しました。 | | |
| 19. 強要 | きょうよう | erpressen, erzwingen |
| 例：捕虜たちはたいへんな仕事を強要された。 | | |
| 20. 姓名 | せいめい | Vor- und Nachname |
| 21. 改める | あらためる | verbessern, verändern; erneuern |
| 例：悪い習慣は改めなければなりません。 | | |
| 22. あやまち | | Fehler |
| 23. 絶対に | ぜったいに | absolut, unbedingt |
| 例：ミスは絶対にしてはならない。 | | |
| 24. 勇気 | ゆうき | Mut, Kühnheit |

【会話】

- | | | |
|--|------|--------------------------------|
| 1. 単一 | たんいつ | einig; einfach |
| 例：日本は単一民族と言われているが、実はそうではない。 | | |
| 2. 華僑 | かきょう | Auslandschinese |
| 例：中国人は昔、周辺のアジアやアメリカに渡って行った。その人たちを華僑と言うが、国籍を変えてしまった人は華人と言う。 | | |
| 3. 占める | しめる | besetzen, einnehmen, innehaben |
| 例：全世界で中国人は約20%を占めている。 | | |

4. 差別	さべつ	Diskriminierung; Unterschied
5. 同化政策	どうかせいさく	Anpassungspolitik
6. 採用	さいよう	jn. anstellen, aufnehmen
例：企業は優秀な若者を採用したがつている。		
7. 風俗	ふうぞく	Sitte
8. 就職	しゅうしょく	eine Stellung finden
例：大学を卒業して大企業に就職した。		
9. 復興運動	ふっこううんどう	Wiederaufbaubewegung

【文法・表現】

1. ～ために (目的)

Zur Angabe eines Zweckes, einer Absicht oder eines Grundes („um ... zu“, „weil“, „deshalb“, „aus diesem Grund“).

- 【例文】
- 新しい車を買うために、一ヶ月100ユーロづつ貯金している。
 - ドイツ語を勉強するため、ドイツに来ました。
 - 来年日本に行きます。そのために毎日日本語を勉強しています。

2. ～をはじめ

Zur Benennung oder Hervorhebung des ersten Gliedes einer Aufzählung („... und“, „sowohl ... als auch“, „nicht nur ... sondern auch“).

- 【例文】
- 彼は英語をはじめ、フランス語、ドイツ語、何でも話せる。
 - 会議参加国は各先進国をはじめ、世界250カ国にのぼった。

3. ～ようになる

Zum Ausdruck einer langsamen, allmählichen Entwicklung („es kommt dazu, dass ...“, „endlich/schließlich“).

- 【例文】
- 難しい日本語が読めるようになりました。
 - もうすぐ日本語の面白さがわかるようになりますよ。

4. ～あまり（あまりに～ので）

„vor“, „in“, „so ... dass“

Beachten Sie den Unterschied zu 「あまり ... ない」.

- 【例文】
- a. ショックのあまり、寝込んでしまった。
 - b. 働きすぎたあまり、病気になってしまった。
 - c. 子どもを大切にするあまり、過保護にしてしまった。

5. 以来

„seit“, „seitdem“, ähnliche Bedeutung wie 「～てから」

- 【例文】
- a. 昨年の冬学期以来、日本語を勉強している。
 - b. 昨年の冬学期が始ってから、日本語を勉強している。
 - c. 入社以来、一度も会社を休んだことがない。
 - d. あれ以来、彼には会っていない。

6. さらに

„überdies“, „außerdem“, „darüber hinaus“

- 【例文】
- a. 物価はすでに高い。さらに、今度は交通費も値上げされるらしい。
 - b. 台風の影響で雨が降っている。風も強くなってきた。さらに悪いことには、停電になってしまった。

7. あるいは

„oder“, „beziehungsweise“

- 【例文】
- a. この件は私、あるいは田中さんに聞いてください。
 - b. 今週、あるいは来週中に一度お目にかかりたいと思います。

【練習】

I ～ために 次の（ ）の中に適当な言葉を入れなさい。

1. Ziel (目的)

- a. 来年日本に（ ）、今日本語を勉強しています。
- b. 来週のパーティー（ ）、新しい服を買いたいんです。
- c. 試験（ ）だけに、日本語を勉強しているではありません。
- d. やせる（ ）、ダイエットしています。
- e. 健康（ ）、毎週スポーツしています。

2. zugunsten von jemandem, in jemandes Interesse (利益)

- a. 子ども（ ）、働いています。
- b. 家族（ ）、おいしい料理を作っています。
- c. あなた（ ）、このケーキを焼きましたから、食べてください。
- d. 戦争中、国（ ）、死んでいった若者が多かった。

3. Grund (理由、原因)

- a. 雨（ ）、家が流された。
- b. 病気（ ）、大学を休みました。
- c. 地震（ ）、家が壊されました。
- d. 事故が（ ）、会社に遅れてしまいました。
- e. 彼が（ ）、会議が始められませんでした。

次の例は気をつけてください。

- f. 雨（ ）、草や木が大きく育ちます。
- g. 先生（ ）、日本語が上手になりました。

II 次の「～ため」は(a)目的、(b)原因、理由、(c)利益の中のどれか、答えなさい。

- 1. 病気で休んでいる友だちのために、ノートをコピーしてあげた。
- 2. 山下さんは元気すぎるために、よくけがをするんです。

3. 人生を楽しむために、働いているんです。
4. 昨晚、夜遅くまでコンピューターゲームをしていたため、今日は大変眠いです。
5. 新幹線の事故のために、電車はみんな1時間遅れました。
6. 彼女は家族のために、あのような事件をおこしたのでしょう。
7. 来月の日本語スピーチコンテストのために、今から準備しておきます。

III 次の文を「ため」を使って右と左をつなぎなさい。

1. この問題を調べます。 委員会を作りました。
2. この川の汚染の原因を調べます。 スイスに行かなければなりません。
3. 修士論文の資料を集めます。 日本に行くつもりです。
4. 田辺さんはドイツに行ってドイツ語の勉強をします。 会社を辞めます。
5. 娘 部屋の掃除をしておきます。
6. 母 花を買う。
7. 父 洗車しておく。
8. 兄 映画の切符を買っておく。
9. 昨日は遅くまで本を読んでいました。 今朝早く起きられませんでした。
10. 労働条件が悪かったです。 その会社を辞めました。
11. スト 電車が止まりました。
12. 東京のラッシュはすごかったです。 疲れました。
13. この機械は大変便利です。 良く売れています。
14. 私は外国語が下手です。 外国に行った時、困ります。
15. この問題は複雑です。 なかなか解決できません。
16. 私にとって日本語は簡単でした。 すぐに覚えられました。
17. 長い間病気でした。 学校を一年休んでいました。
18. 最近は流行語が多すぎます。 古い世代の人は理解に苦しんでいます。
19. サッカーがありました。 車が渋滞しています。
20. この国には言論の自由がありません。 言いたいことが言えません。

【まとめ】～なる の表現いろいろ

ここでは「なる」の文法的な接続をまとめました。

1. Nomen + になる

- 先生になる
- 雨になる
- 12時になる

2. な- Adj + になる

- きれいになる
- 静になる
- 有名になる

3. い- Adj + なる

- 大きくなる
- 高くなる
- おいしくなる

4. Verb + ようになる

a. Infinitivform + ようになる (zum Ausdruck der Veränderung einer Gewohnheit)

- ドイツにきてから、たくさん歩くようになりました。
- 最近たくさん本を読むようになりました。
- 日本人はワインを飲むようになりました。

b. Potentialform / intransitives Verb (im Infinitiv) + ようになる

(zum Ausdruck von Veränderungen in den Fähigkeiten, Möglichkeiten)

- 最近ようやくお酒が飲めるようになりました。
- だんだん日本の新聞が読めるようになりました。

c. ない (い fällt weg) – Form + くなる

(Gewohnheiten oder Fähigkeiten verschwinden)

- 最近全然歩かなくなりました。
- お酒が飲めなくなりました。

【内容質問】

次の質問に答えなさい。

【本文】

1. 明治維新以後、日本は何をめざしましたか。
2. どうしてですか。
3. そのために何が必要でしたか。
4. そのいい結果としてどんなことがありましたか。
5. その悪い結果としてどんなことがありましたか。
6. 日本はどんな人たちに対して、自分の文化を強制しましたか。
7. 「日本の文化を強制した」というのはどういうことですか。
8. 「過去のあやまち」というのはどういうことですか。
9. 今から日本人は何をしなければなりませんか。

【会話】

1. アイヌというのはどういう人々のことですか。
2. 少数民族というのはどういうことですか。
3. どうしてアイヌに対しての差別が始りましたか。
4. 同化政策というのはどんな政策ですか。どんなことをさせましたか。
5. 今も日本社会の中に差別があると思いますか。

【作文】

次の質問に答えて、それからそれを300字ぐらいで要約してください。

1. あなたは差別されたことがありますか。
2. それはどんなとき差別と感じましたか。
3. 差別されるのはどんな人たちだと思いますか。
4. 差別される人たちはどんな気持ちだと思いますか。
5. 差別はどういうことだと思いますか。

【タスク】

日本における少数民族についてインターネットなどで情報を得て発表しなさい。

【漢字】

カタカナ：音読み ひらがな：訓読み¹

- | | | | |
|----|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. | 治 ジ、チ | Regierung, Heilung | せいじ
政治 |
| | <u>おさめる</u> 、 | regieren, unterdrücken | |
| | <u>おさまる</u> | sich legen, unterdrückt werden | |
| | <u>なおす</u> 、 <u>なおる</u> | heilen | なお
病気が治る |
| 2. | 歴 レキ | Fortdauer, Verlauf | れきし りれきしょ
歴史、履歴書 |
| 3. | 史 シ | Geschichte, Chronik | しがく とうようし
史学、東洋史 |
| 4. | 欧 オウ | Europa | おうしゅう おうべい
欧州、欧米 |
| 5. | 米 ベイ、マイ、こめ | Reis, Amerika | しんまい にちべい べいこく
新米、日米、米国 |

¹ Es können nur die häufigsten Lesungen und Bedeutungen angegeben werden.

- | | | | | |
|-----|----------|---|---|----------------------------------|
| 6. | 建 | ケン、コン、
<u>た</u> てる | bauen | けんせつ
建設、
たてもの
建物 |
| | | <u>た</u> つ | errichtet werden | |
| 7. | 設 | セツ、 <u>も</u> うける | anlegen, vorbereiten, gründen | せつりつ
設立、
きかん もう
機関を設ける |
| 8. | 標 | ヒョウ | Zeichen, Markierung | ひょうじゅんご もくひょう
標準語、目標 |
| 9. | 共 | キョウ、とも | zusammen, alle | きょうつうご わたしども
共通語、私共 |
| 10. | 要 | ヨウ

いる | Hauptsache, Notwendigkeit

brauchen | ひつよう じゅうよう
必要、重要 |
| 11. | 果 | カ

<u>は</u> たす、 <u>は</u> てる | Frucht, Ergebnis

vollenden, enden | けっか かじゅえん
結果、果樹園 |
| 12. | 解 | カイ、ゲ、とく

<u>と</u> ける

<u>と</u> かす | (auf-)lösen

sich lösen, aufgehen

kämmen | りかい ようかい
理解、溶解、
かいとう
解答 |
| 13. | 視 | シ | Sicht, Betrachtung | じゅうし けいし
重視、軽視 |
| 14. | 程 | テイ、ほど | (Aus-)Maß, Grad | ていど かてい
程度、過程 |
| 15. | 域 | イキ | Gebiet, Region | ちいき りょういき
地域、領域 |
| 16. | 独 | ドク

ひとり | allein, Deutschland

allein | どくしん どくじ こだく
独身、独自、孤独 |
| 17. | 植 | ショク、 <u>う</u> える | pflanzen | しょくみんち しょくぶつ
植民地、植物 |
| 18. | 戦 | セン、 <u>た</u> たかう | kämpfen | せんそう せんじょう
戦争、戦場 |
| 19. | 姓 | セイ、ショウ | Familienname | せいめい
姓名 |
| 20. | 改 | カイ、 <u>あ</u> らためる | ändern, reformieren | かいせい かいかく
改正、改革 |
| 21. | 風 | フウ、かぜ | Wind, Aussehen, Stil | にほんふう ふうしゃ
日本風、風車 |

- | | | | | |
|-----|----------|-------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 22. | 絶 | ゼツ、 <u>た</u> える | aussterben, enden | ぜつぼう ぜつたい
絶望、絶対 |
| 23. | 占 | セン、 <u>し</u> める | besetzen, einnehmen | せんりよう うらな
占領、占い |
| | | <u>う</u> らなう | wahrsagen | |
| 24. | 越 | エツ、 | überschreiten, passieren | ちょうえつ えつきよう
超越、越境 |
| | | <u>こ</u> す、 <u>こ</u> える | | |
| 25. | 府 | フ | Lager, Behörde, Hauptstadt | おおさかふ きょうとふ
大阪府、京都府、
せいふ
政府 |
| 26. | 策 | サク | Maßnahme, Plan, Politik | せいさく さくりやく
政策、策略 |
| 27. | 就 | シュウ、 <u>つ</u> く | Platz einnehmen,
Stelle antreten | しゅうにん しゅうしよく
就任、就職、
つく
就く |
| 28. | 職 | シヨク | Anstellung, Amt, Beruf | しよくぎよう しよくしゅ
職業、職種 |
| 29. | 俗 | ゾク | Sitten und Gebräuche; vulgär | ふうぞく
風俗 |
| 30. | 採 | サイ、 <u>と</u> る | annehmen, anstellen; sammeln | さいよう さいしゅう
採用、採集 |

【漢字テスト】

() の中の漢字を書きなさい。_____の部分は平仮名をつけなさい。

1. 中国の () は長いです。
れきし
2. 日本は () の進んだ文化に追い付くために努力しました。
おうべい
3. () を日本 () に () めさせる。
せいめい ふう あらた

4. 日本語の標準語はNHKのアナウンサーが使っている言葉です。
5. 他人を（ ）することは難しいです。
りかい
6. その（ ）独自の文化を作る（ ）がある。
ちいき ひつよう
7. ドイツ（ ）の教育に対する（ ）についてどう思いますか。
せいふ せいさく
8. 第二次世界大戦のころの植民地の人々の生活はひどかった。
9. 大学を卒業したら、（ ）して、早く独立したい。
しゅうしょく
10. 結果が大切なわけではありません。その（ ）が大切なのです。
かてい
11. 企業はどんな人を（ ）したがついていますか。
さいよう



Track 3

【聴解】

次の会話を聞いて下の質問に答えなさい。

1. 北海道のどんな町にアイヌ村がありますか。
2. アイヌと日本人は違いますか。
3. 現在アイヌはどのくらいいますか。

【翻訳】

1. Die Ainu sind japanische Ureinwohner und leben heute hauptsächlich in Hokkaido.
2. Die Meiji-Regierung hat 1899 unter dem Vorwand die Ainu zu beschützen ein Gesetz zur Anpassung der Ainu an die Japaner verkündet.
3. Gleich nach dem Schulabschluss hat er eine Stelle in dieser Firma bekommen, obwohl die Stellensituation dieses Jahr sehr schwierig ist.
4. Sie hat sich vor Kummer ins Meer gestürzt.
5. Wir müssen uns beeilen, damit wir den Zug nicht verpassen.
6. Die Produktion wird voraussichtlich die Nachfrage nach diesem Produkt nicht erreichen.
7. Diese Region hat ihren eigenen Dialekt, deswegen kann ich nichts verstehen.
8. Seit letztem Monat hat es nicht mehr geregnet, deshalb ist die Waldbrandgefahr hoch.
9. Der Mitarbeiter der zuständigen Behörde hat hartnäckig diese Tatsache bestritten.
10. Seine Worte wurden schließlich von allen ernst genommen.
11. この町に来て以来、たくさんの友だちが出来ました。
12. お父様をはじめ家族の皆様にごうぞよろしくお伝えください。
13. 四年毎のオリンピックのために、いろいろな施設が作られている。
14. 5年間日本語を勉強して、やっと少し日本語の新聞が読めるようになりました。
15. 寂しさのあまり、悪い友達と付き合うようになってしまった。
16. 電車はストライキ中で、さらに悪いことに、雪まで降り出した。
17. この仕事は田中さん、あるいは山中さんに頼んでください。
18. ストライキのために多くの人々の足がうばわれた。
19. このプロジェクトを成功させるために、会社一体になって頑張った。
20. 将来いい仕事を見つけるために、今から準備しなければなりません。